公共施設に関する市民アンケート調査結果

春日市　経営企画部　経営企画課

令和８年１１月

1 市民アンケート調査概要

(1)調査目的

春日市内在住の方を対象として、公共施設等（公共建築物及びインフラ資産）の利用実態等を把握するためのアンケート調査を実施する。

(2)調査時期

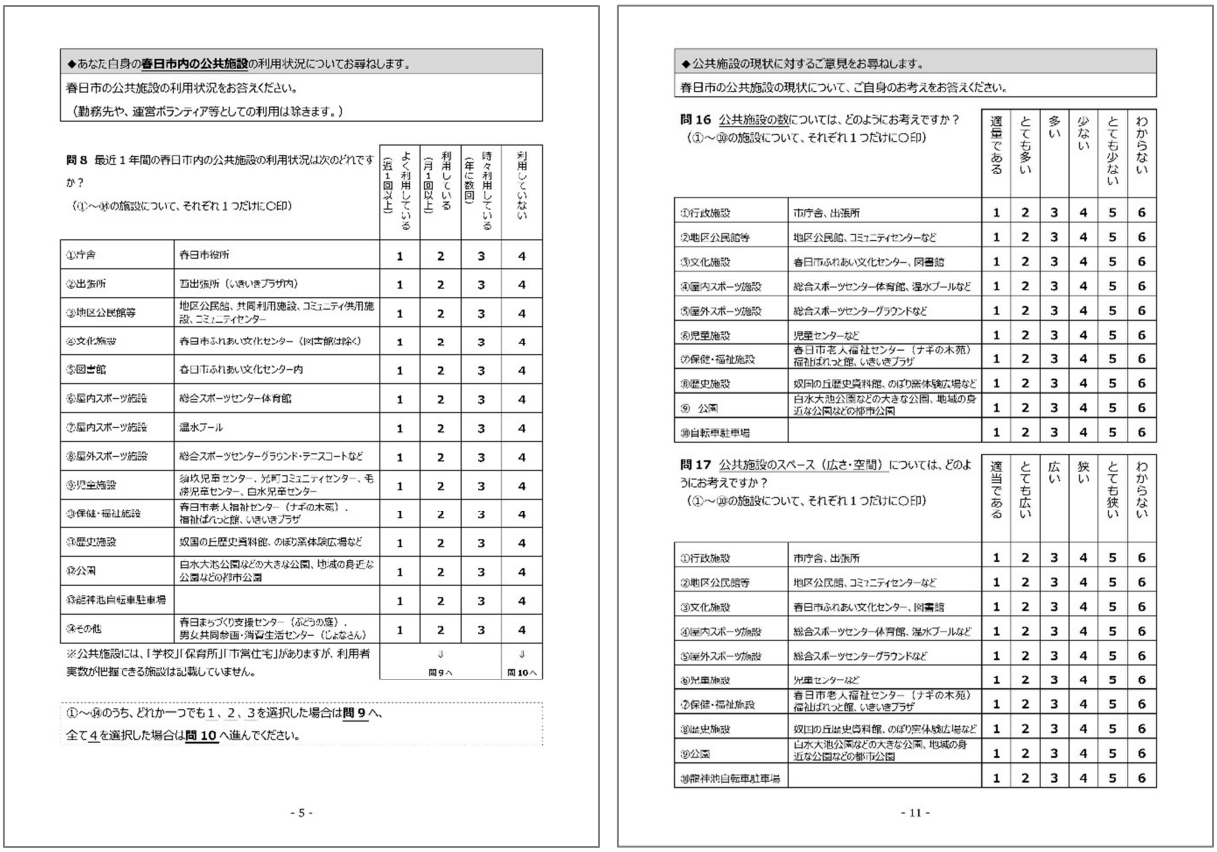
令和 8 年 7 月 1 日 ～ 7 月 31 日

(3)調査方法

18 歳以上の春日市在住市民を無作為に抽出した 2,000 名を対象とし、Web と郵送による配布・回収

(4)回答者数

有効回答率：31.1%（配布数 2,000 票　有効回収数 621 票）



◆あなた自身の**春日市内の公共施設**の利用状況についてお尋ねします。

春日市の公共施設の利用状況をお答えください。

（勤務先や、運営ボランティア等としての利用は除きます。）

問 8 最近 1 年間の春日市内の公共施設の利用状況は次のどれですか？

（①～⑯の施設について、それぞれ 1 つだけに○印）

		よく利用している（週 1 回以上）	利用している（月 1 回以上）	時々利用している（年に数回）	利用していない
①庁舎	春日市役所	1	2	3	4
②出張所	五出張所（いきいきプラザ内）	1	2	3	4
③地区公民館等	地区公民館、共同利用施設、コミュニティ供用施設、コミュニティセンター	1	2	3	4
④文化施設	春日市ふれあい文化センター（図書館は除く）	1	2	3	4
⑤図書館	春日市ふれあい文化センター内	1	2	3	4
⑥屋内スポーツ施設	総合スポーツセンター体育館	1	2	3	4
⑦屋内スポーツ施設	温水プール	1	2	3	4
⑧屋外スポーツ施設	総合スポーツセンターグラウンド・テニスコートなど	1	2	3	4
⑨児童施設	白水児童センター、光町コミュニティセンター、毛塚児童センター、白水児童センター	1	2	3	4
⑩保健・福祉施設	春日市老人福祉センター（ナギの木苑）、福祉ばれっと館、いきいきプラザ	1	2	3	4
⑪歴史施設	奴国の丘歴史資料館、のぼり窯体験広場など	1	2	3	4
⑫公園	白水大池公園などの大きな公園、地域の身近な公園などの都市公園	1	2	3	4
⑬自転車駐車場		1	2	3	4
⑭その他	春日まちづくり支援センター（ぶどうの家）、男女共同参画・消費生活センター（じょなさん）	1	2	3	4
※公共施設には、「学校」「保育所」「市営住宅」がありますが、利用者実数が把握できる施設は記載していません。		↓ 問 9 へ			↓ 問 10 へ

①～⑭のうち、どれか一つでも 1、2、3 を選択した場合は**問 9** へ、

全て 4 を選択した場合は**問 10** へ進んでください。

- 5 -

◆公共施設の現状に対するご意見をお尋ねします。

春日市の公共施設の現状について、ご自身のお考えをお答えください。

問 16 公共施設の**数**については、どのようにお考えですか？

（①～⑮の施設について、それぞれ 1 つだけに○印）

		適量である	とても多い	多い	少ない	とても少ない	わからない
①行政施設	市庁舎、出張所	1	2	3	4	5	6
②地区公民館等	地区公民館、コミュニティセンターなど	1	2	3	4	5	6
③文化施設	春日市ふれあい文化センター、図書館	1	2	3	4	5	6
④屋内スポーツ施設	総合スポーツセンター体育館、温水プールなど	1	2	3	4	5	6
⑤屋外スポーツ施設	総合スポーツセンターグラウンドなど	1	2	3	4	5	6
⑥児童施設	児童センターなど	1	2	3	4	5	6
⑦保健・福祉施設	春日市老人福祉センター（ナギの木苑）福祉ばれっと館、いきいきプラザ	1	2	3	4	5	6
⑧歴史施設	奴国の丘歴史資料館、のぼり窯体験広場など	1	2	3	4	5	6
⑨ 公園	白水大池公園などの大きな公園、地域の身近な公園などの都市公園	1	2	3	4	5	6
⑩自転車駐車場		1	2	3	4	5	6

問 17 公共施設の**スペース（広さ・空間）**については、どのようにお考えですか？

（①～⑮の施設について、それぞれ 1 つだけに○印）

		適当である	とても広い	広い	狭い	とても狭い	わからない
①行政施設	市庁舎、出張所	1	2	3	4	5	6
②地区公民館等	地区公民館、コミュニティセンターなど	1	2	3	4	5	6
③文化施設	春日市ふれあい文化センター、図書館	1	2	3	4	5	6
④屋内スポーツ施設	総合スポーツセンター体育館、温水プールなど	1	2	3	4	5	6
⑤屋外スポーツ施設	総合スポーツセンターグラウンドなど	1	2	3	4	5	6
⑥児童施設	児童センターなど	1	2	3	4	5	6
⑦保健・福祉施設	春日市老人福祉センター（ナギの木苑）福祉ばれっと館、いきいきプラザ	1	2	3	4	5	6
⑧歴史施設	奴国の丘歴史資料館、のぼり窯体験広場など	1	2	3	4	5	6
⑨公園	白水大池公園などの大きな公園、地域の身近な公園などの都市公園	1	2	3	4	5	6
⑩都神池自転車駐車場		1	2	3	4	5	6

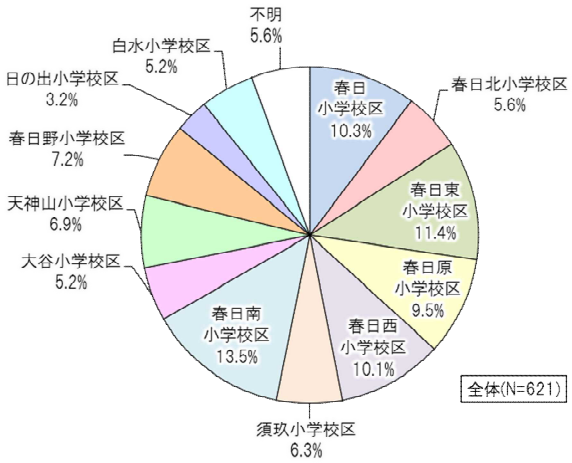
- 11 -

▲アンケート調査票（抜粋）

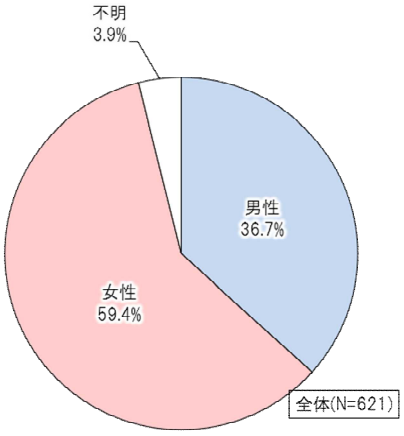
2　市民アンケート結果分析

①回答者の属性

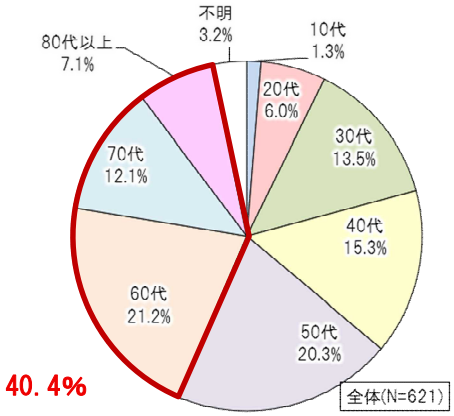
回答者の性別は、男性が約 4 割(36.7%)、女性が約 6 割(59.4%)となっています。年齢は、約 4 割(40.4%)が 60 歳代以上となっており、春日市での居住年数が 6 年以上の方が約 8 割(75.8%)を占めています。また、通勤・通学地では、福岡市が最も多く約 3 割(31.1%)を占め、次いで春日市内が約 2 割(21.7%)を占めています。



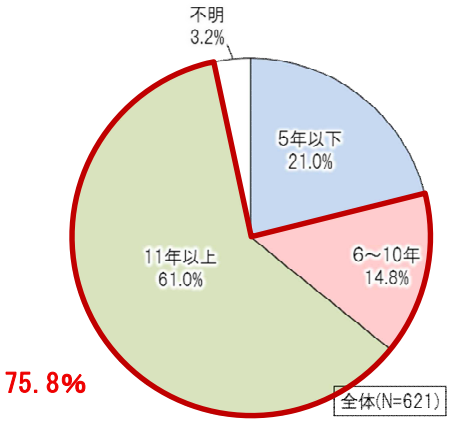
▲居住校区



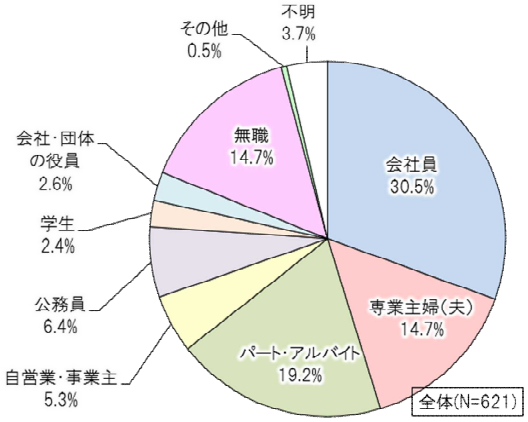
▲性別



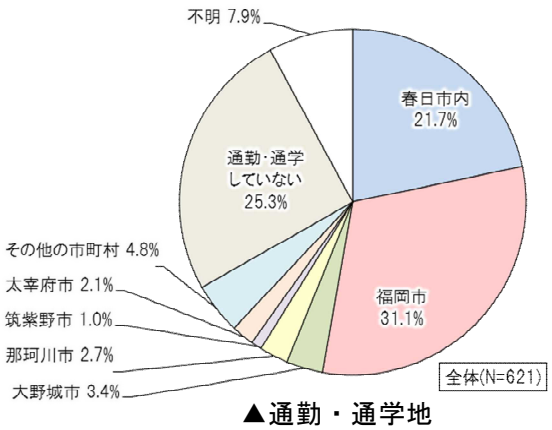
▲年齢別



▲居住年数



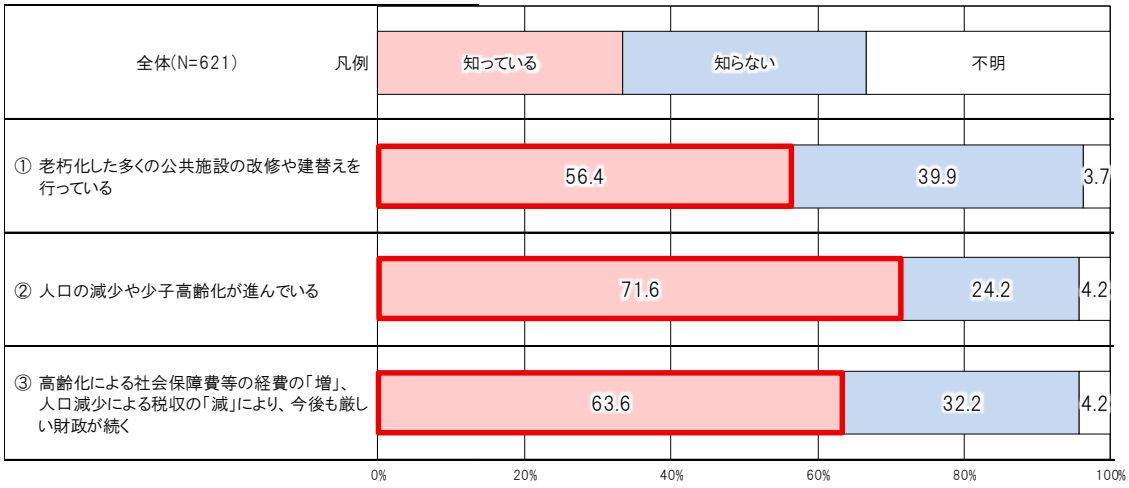
▲職業別



▲通勤・通学地

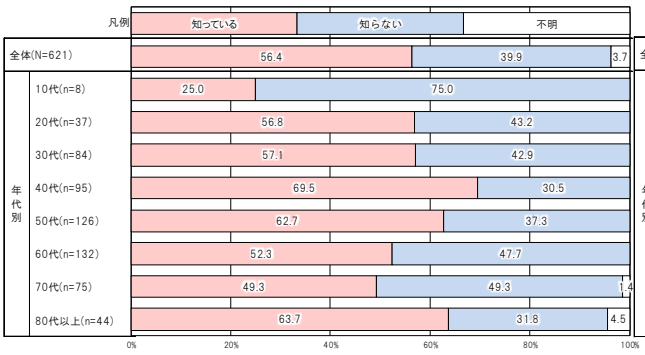
②春日市を取り巻く現状についての認知状況

春日市を取り巻く現状に関する認知状況については、「老朽化した多くの公共施設の改修状況」「少子高齢化の進行状況」「財政状況」について、全体の５割以上の方が知っていると回答しています。

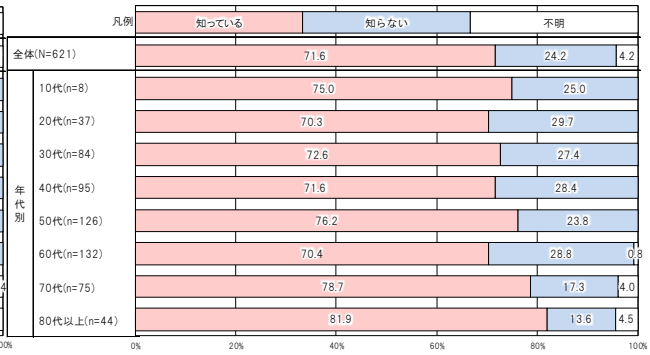


▲春日市を取り巻く現状についての認知状況

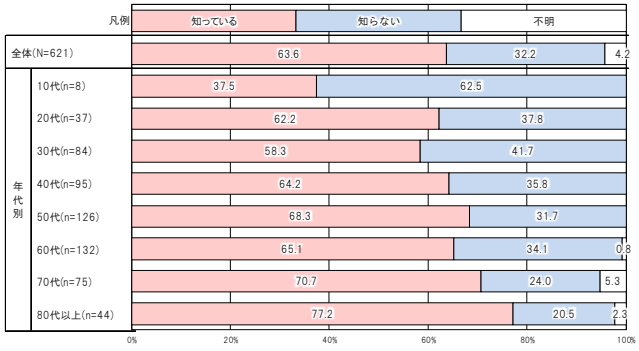
年代別で見ると、①及び③で 10 代のみ「知らない」が「知っている」を上回ったものの、それ以外の設問・年代では「知っている」が「知らない」を上回っており、全体として認知が浸透していることがうかがえます。



▲①老朽化した多くの公共施設の改修や建替えを行っている【年代別】



▲②人口の減少や少子高齢化が進んでいる【年代別】

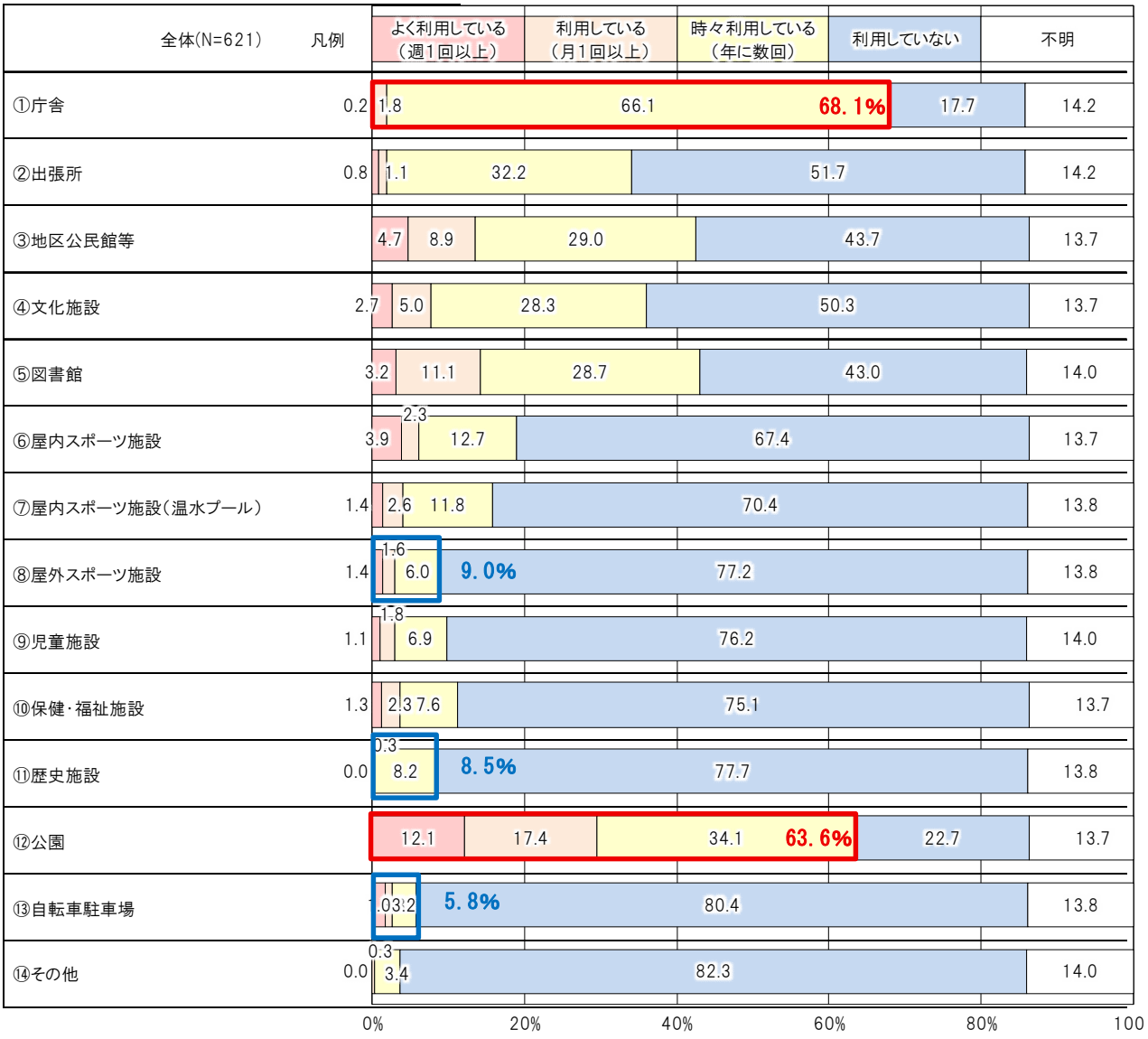


▲③高齢化による社会保障費等の経費の「増」、人口減少による税収の「減」により、今後も厳しい財政が続く【年代別】

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

③最近１年間の春日市内の公共施設の利用状況

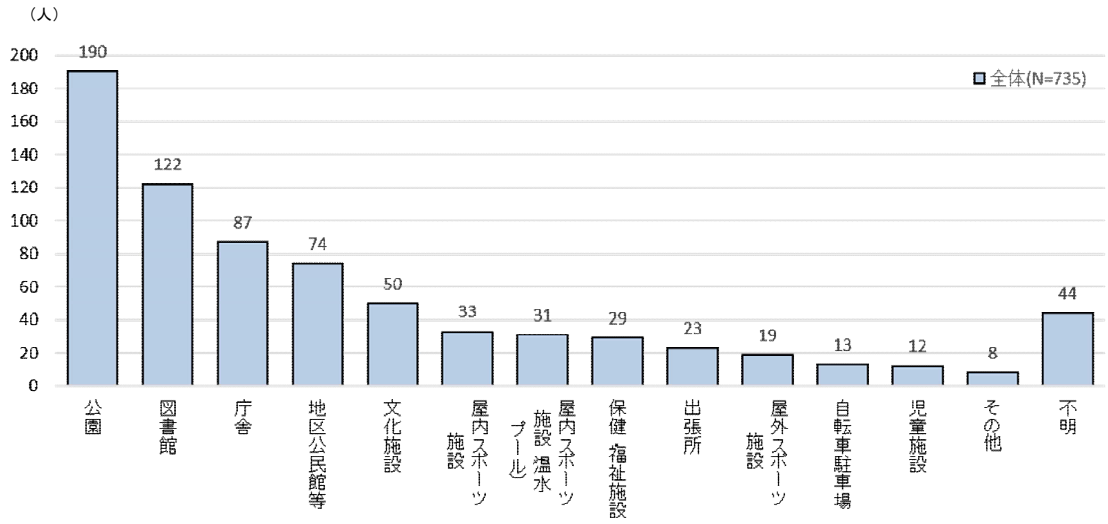
最近１年間の春日市内の公共施設の利用状況について、「よく利用している(週１回以上)」「利用している(月１回以上)」「時々利用している(年に数回)」と回答した方が、「庁舎」で約７割(68.1%)、次いで「公園」で約６割(63.6%)の回答となっています。一方、利用者が限定される「児童施設」を除いて、「歴史施設」や「屋外スポーツ施設」がそれぞれ約１割(8.5%､9.0%)、「自転車駐車場」が１割以下（5.8%）の回答となっています。



▲最近１年間の春日市内の公共施設の利用状況

④利用している公共施設

利用している公共施設については、「公園」が最も多く、次いで「図書館」、「庁舎」、「地区公民館等」の利用が多い結果となっています。



▲利用している公共施設

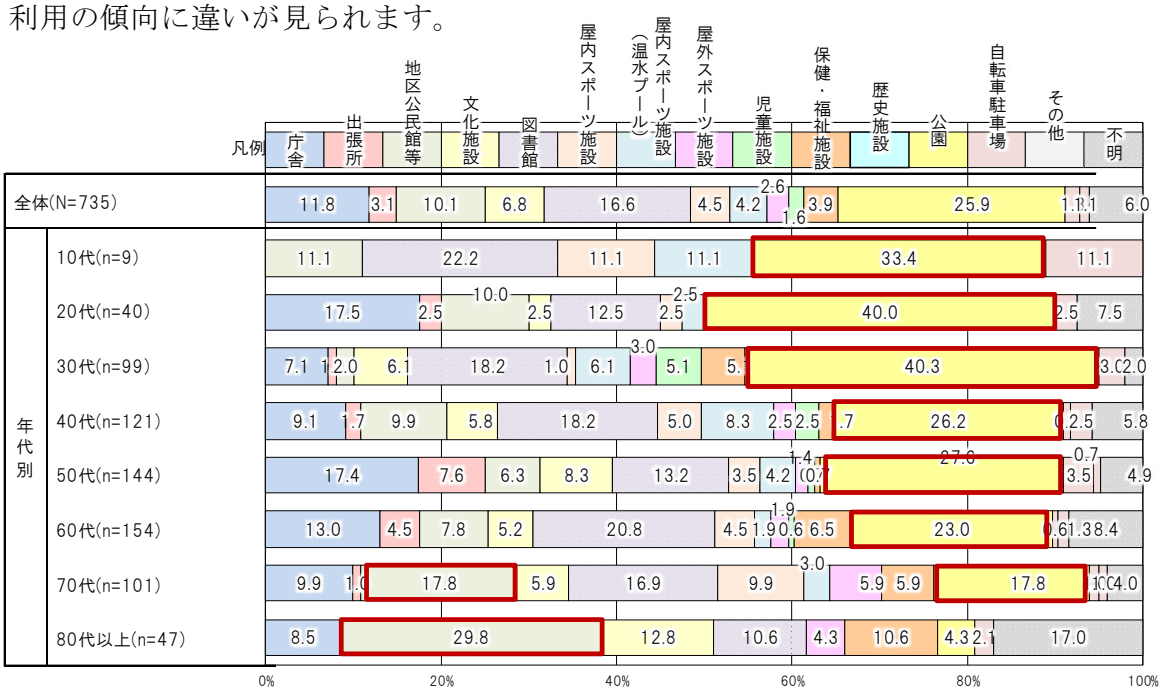
※複数回答を含む

また、利用している施設のうち、5 人以上が回答した施設名を下記に整理します。

▼主な利用施設

施設名	回答数
公園	190
白水大池公園	70
春日公園	88
その他	32
春日市民図書館	122
春日市役所	87
地区公民館等	74
ふれあい文化センター	41
総合スポーツセンター	41
総合スポーツセンターテニスコート	5
総合スポーツセンター体育館	21
総合スポーツセンター	15
温水プール	31
西出張所	23
いきいきプラザ	19
自転車駐車場	13

利用施設は、多くの年代・居住地区分で「公園」の利用が最も多くなっています。一方、年代別では 80 代で「地区公民館等」の利用が最も多く、70 代でも「公園」と同程度の利用が見られます。また、居住地別では、春日北小学校区及び春日西小学校区で「図書館」、白水小学校区で「地区公民館等」の利用が最も多く、地域によって施設利用の傾向に違いが見られます。

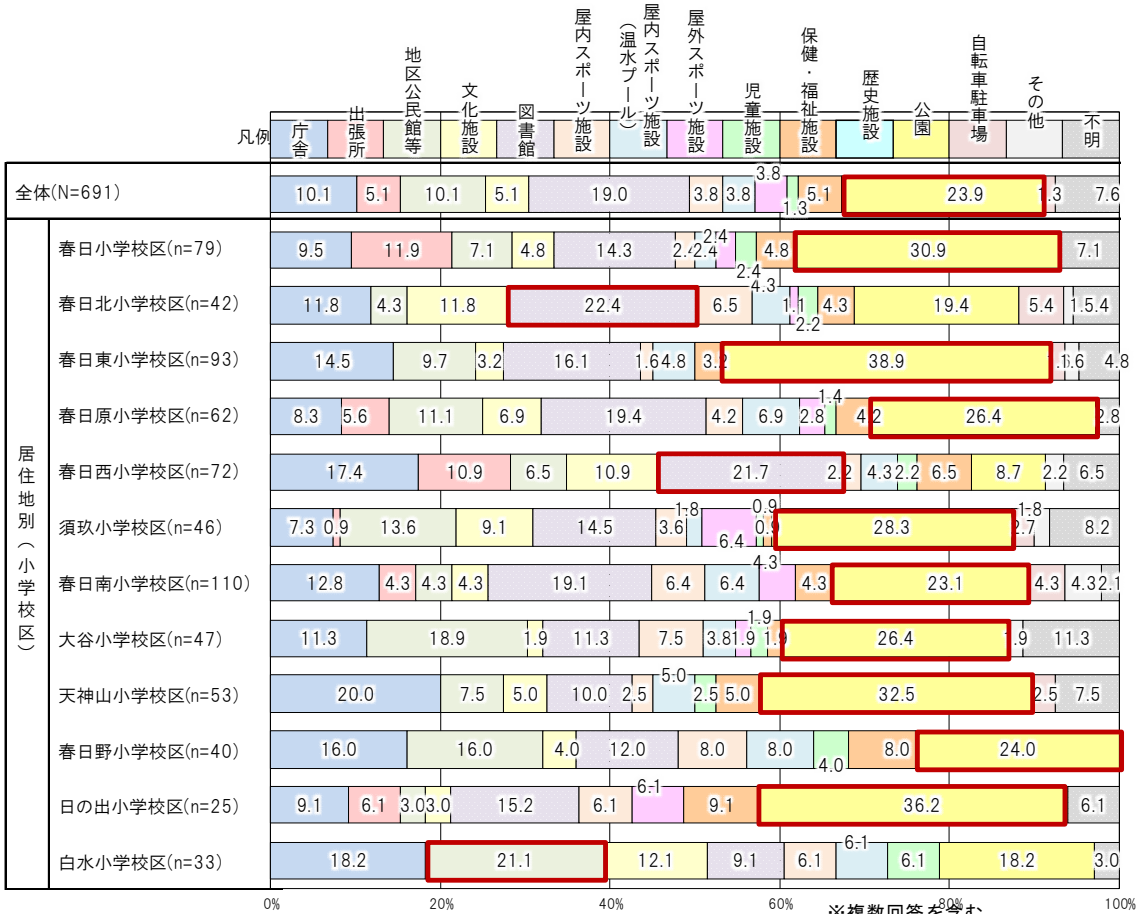


第１位

▲利用している公共施設【年代別】

※複数回答を含む

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む



第１位

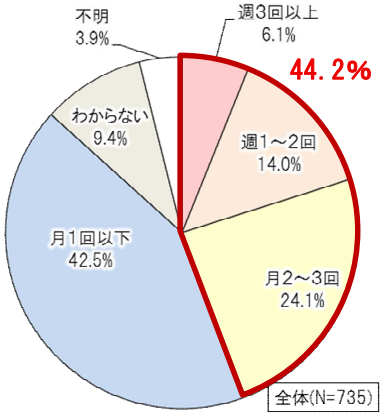
▲利用している公共施設【居住地別】

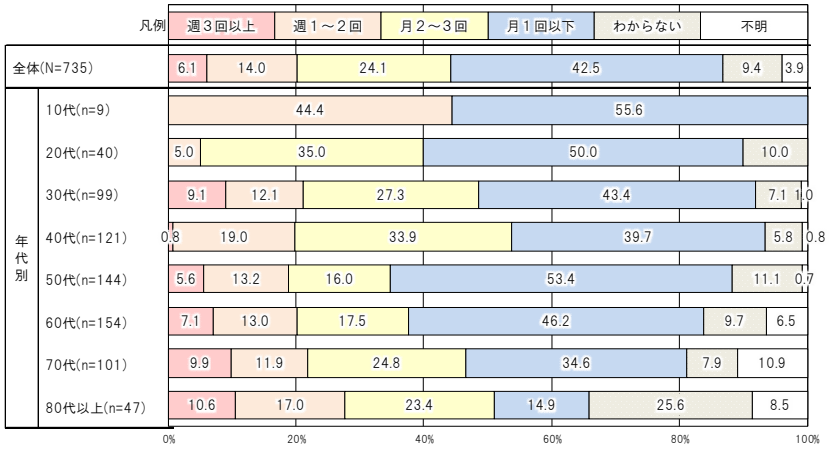
※複数回答を含む

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

⑤活動回数

施設を利用する方の活動回数は約 4 割（44.2%）の方が、「月 2～3 回」以上の利用と回答しています。



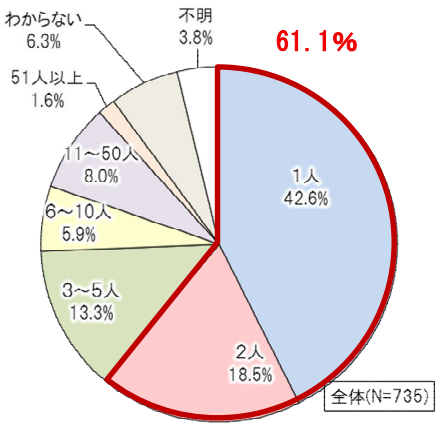


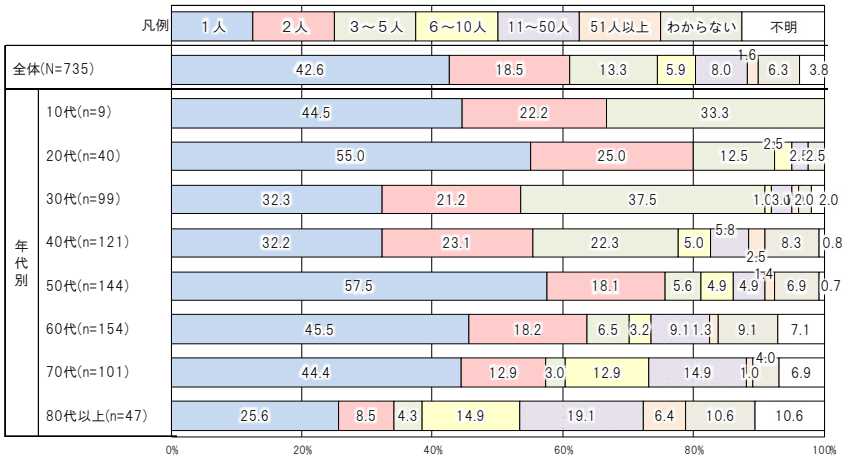
▲活動回数　※複数回答を含む

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

⑥活動の参加人数

活動の参加人数について、「1 人」が約 4 割(42.6%)を占め、2 人以下の利用が約 6 割(61.1%)と、少人数での利用が多い状況となっています。



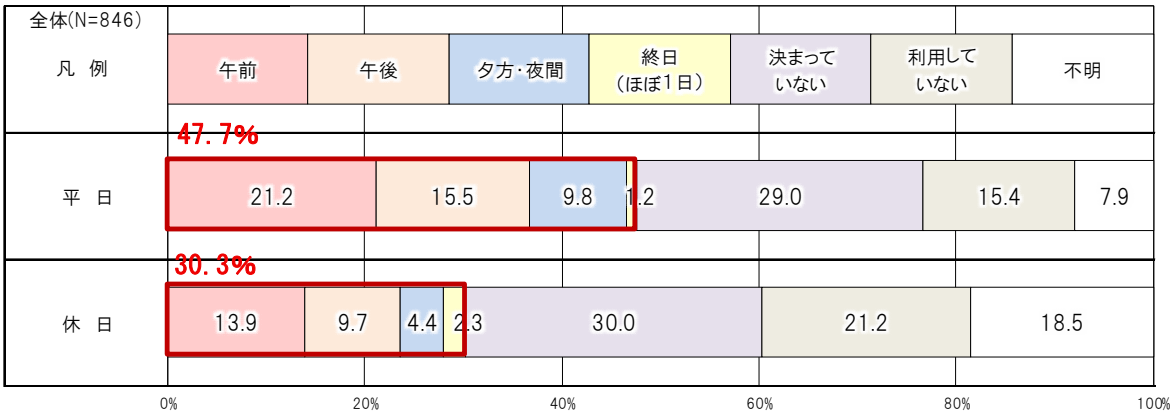


▲活動の参加人数　※複数回答を含む

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

⑦主に利用する時間帯

平日は約５割（47.7%）が決まった時間帯に利用しています。休日は約３割（30.3%）が決まった時間帯に利用しています。

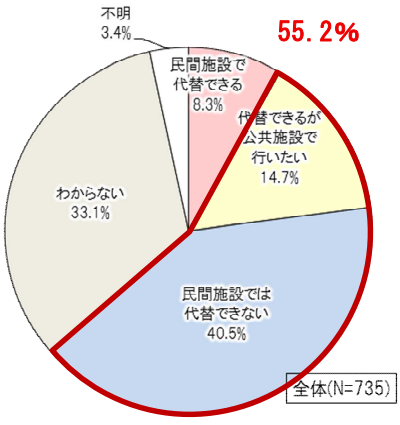


▲主に利用する時間帯　※複数回答を含む

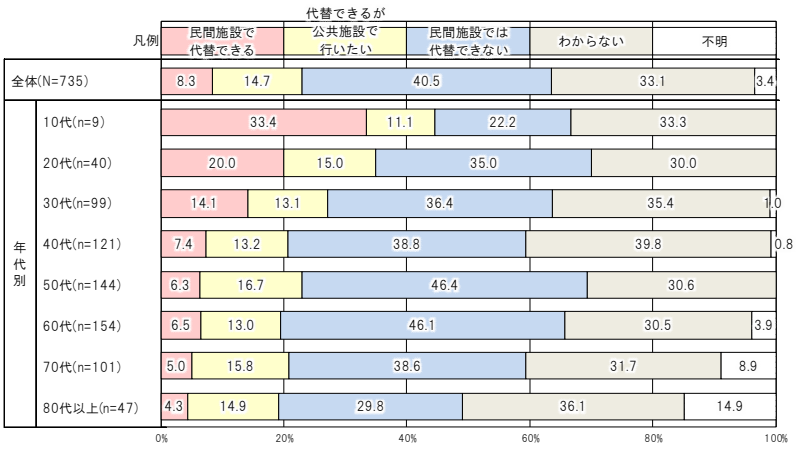
⑧民間施設への代替可能性

現在利用している公共施設については、約１割（8.3%）が「民間施設で代替できる」と回答しています。

一方で、５割以上（55.2%）が「代替できるが公共施設で行いたい」「民間施設では代替できない」と回答しています。



▲民間施設への代替可能性



▲民間施設への代替可能性【年代別】

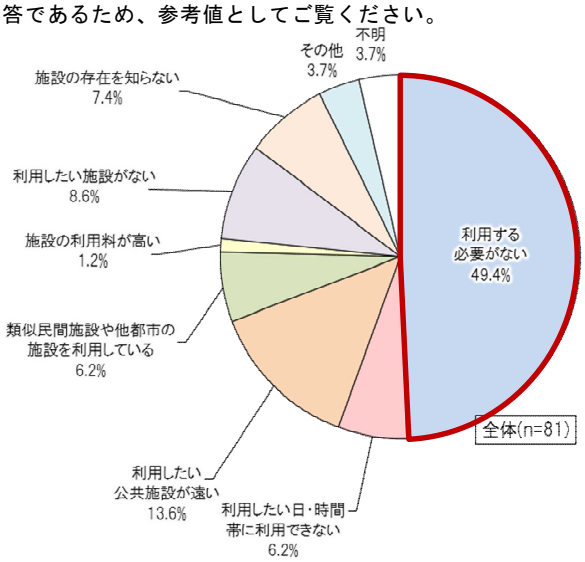
※複数回答を含む

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

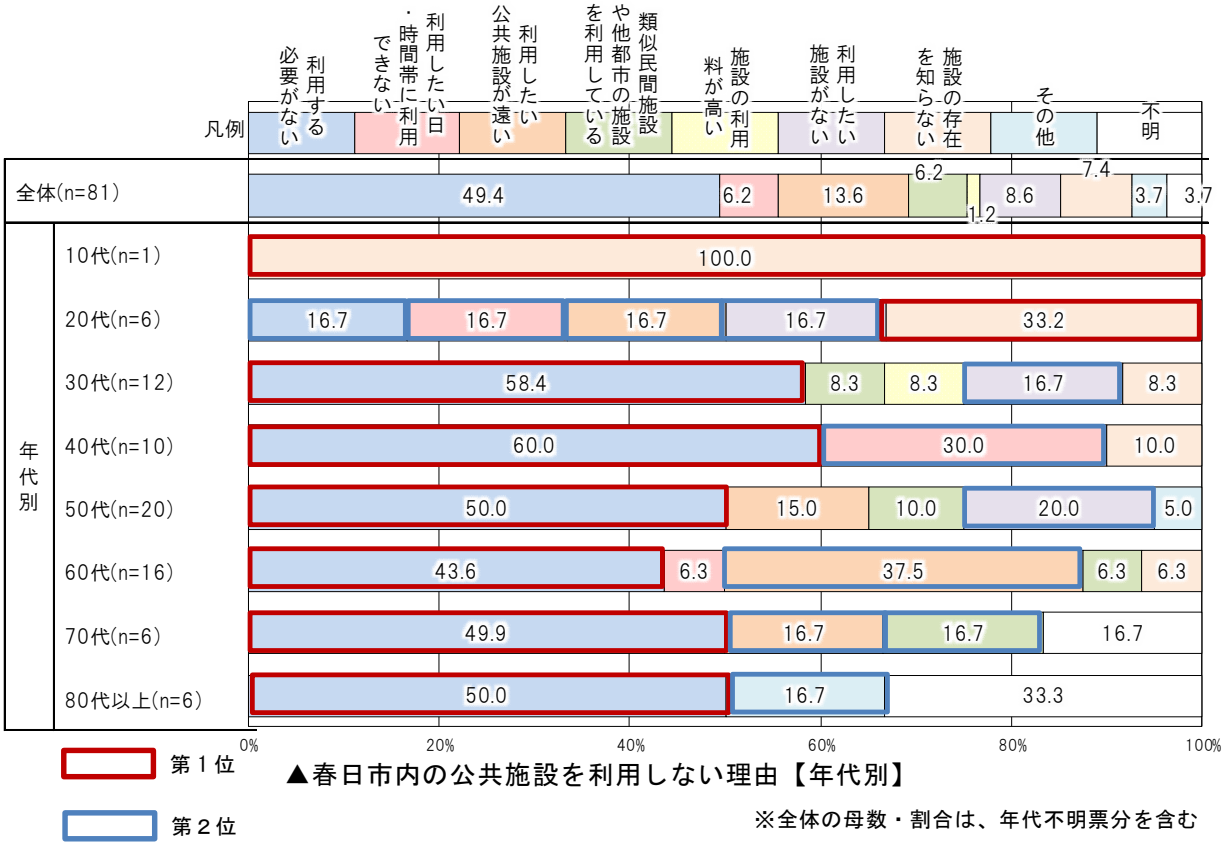
⑨春日市内の公共施設を利用しない理由

公共施設を利用しないと回答した方は全体の約 1 割（81 人/621 人＝13.0%）となっていました。利用しない理由は、「利用する必要が無い」が約半数を占め、年代別に見ても、多くの年代で「利用する必要が無い」が最も多くなっています。一方、10 代では「施設の存在を知らない」が最も多く、他の年代とは異なる傾向がみられます。また、第 2 位以下の理由については、20 代から 70 代までの各年代で異なっており、利用しない背景には年代ごとの特徴もみられます。

※10 代は 18～19 歳のみの回答であるため、参考値としてご覧ください。



▲春日市内の公共施設を利用しない理由

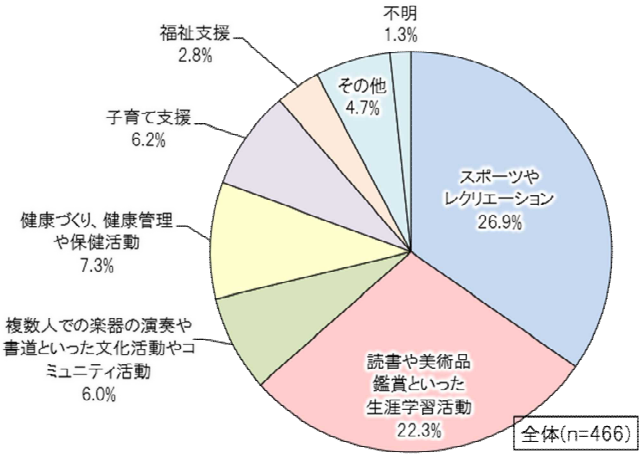


▲春日市内の公共施設を利用しない理由【年代別】

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

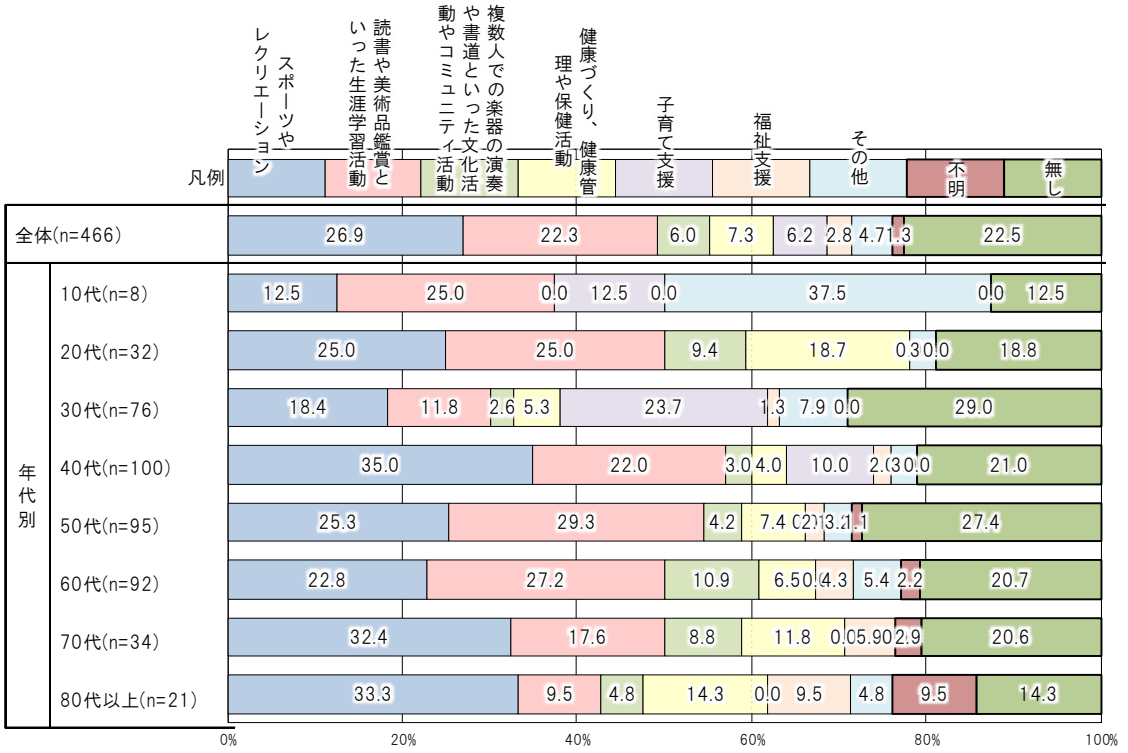
⑩市外の公共施設および市内外の民間施設での活動内容

市外の公共施設および市内外の民間施設での活動内容については、全体の約８割（466 人/621 人＝75.0%）が利用していると回答しています。活動内容については、「スポーツ・レクリエーション」が約３割（26.9%）、次いで「読書や美術品鑑賞といった生涯学習活動」が約２割（22.3%）となっています。



▲市外の公共施設および
市内外の民間施設での活動内容

※複数回答を含む



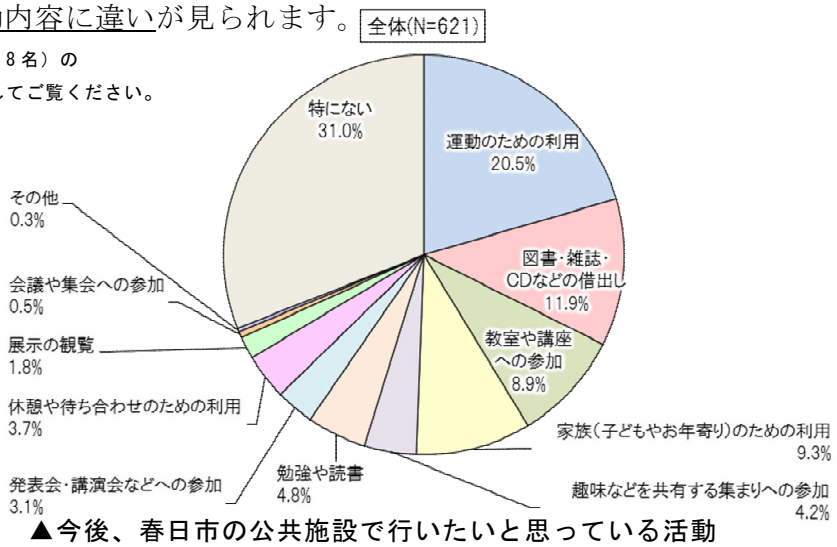
▲市外の公共施設および
市内外の民間施設での活動内容【年代別】

※複数回答を含む

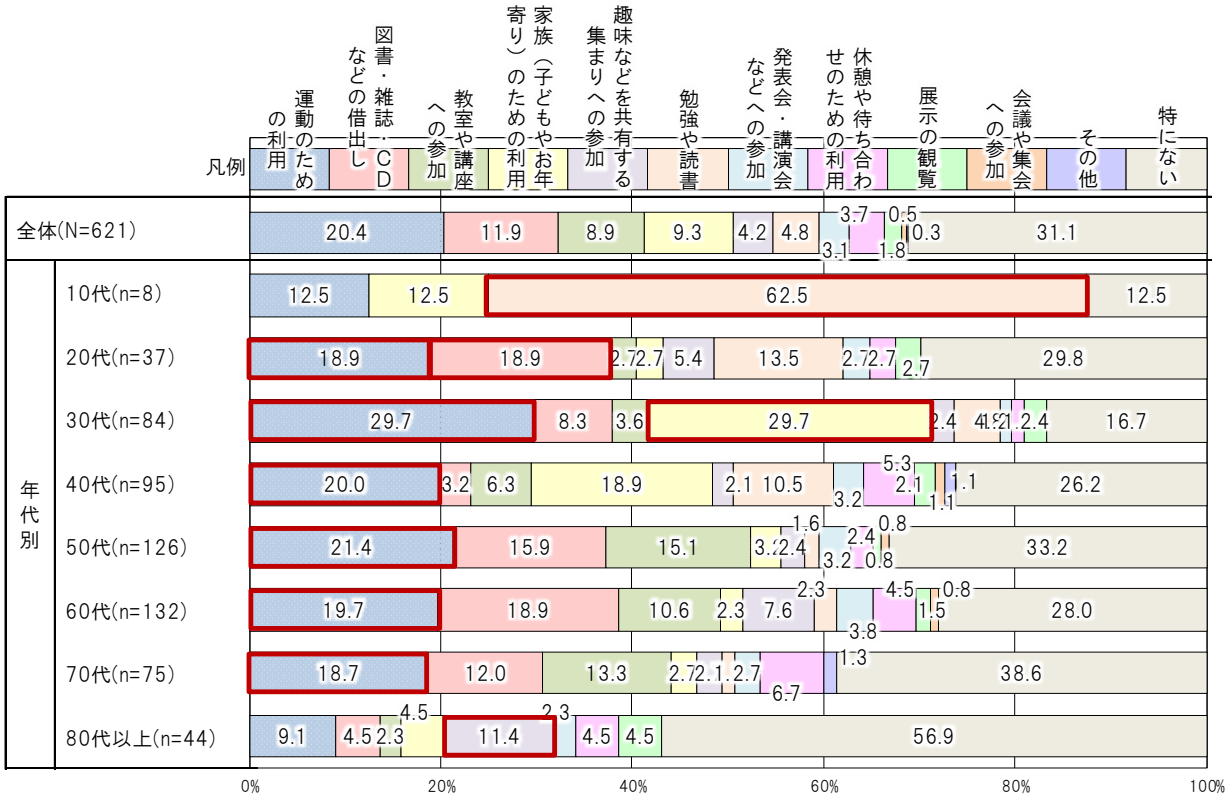
⑪今後、春日市の公共施設で行いたいと思っている活動

今後、春日市の公共施設で行いたいと思っている活動について、「運動のための利用」が約２割（20.5%）、「図書・雑誌・CD などの借出し」「家族（子どもやお年寄り）のための利用」「教室や講座への参加」約１割(11.9%、9.3%、8.9%)が多くなっています。年代別では、20 代から 70 代で「運動のための利用」が最も多くなっており、全体として運動や健康づくりに関する活動へのニーズが高いことがうかがえます。一方、10 代では「勉強や読書」が最も多く、20 代では「図書・雑誌・CD などの借出し」が、30 代では「勉強や読書」が「運動のための利用」と同率で最も多くなっています。また、80 代以上では「教室や講座への参加」が最も多く、年代によって公共施設に求める活動内容に違いが見られます。

※10 代は 18～19 歳のみ（約 8 名）の
回答であるため、参考値としてご覧ください。



▲今後、春日市の公共施設で行いたいと思っている活動



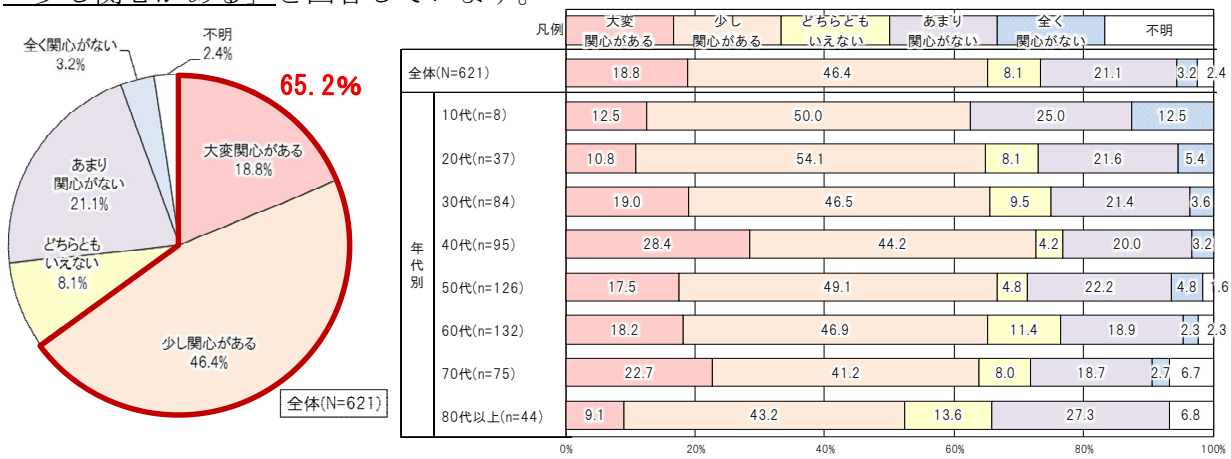
第１位

▲今後、春日市の公共施設で行いたいと思っている活動【年代別】

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

⑫春日市の公共施設の現状や課題についての関心

春日市の公共施設の現状や課題について、約７割（65.2%）が「大変関心がある」「少し関心がある」と回答しています。

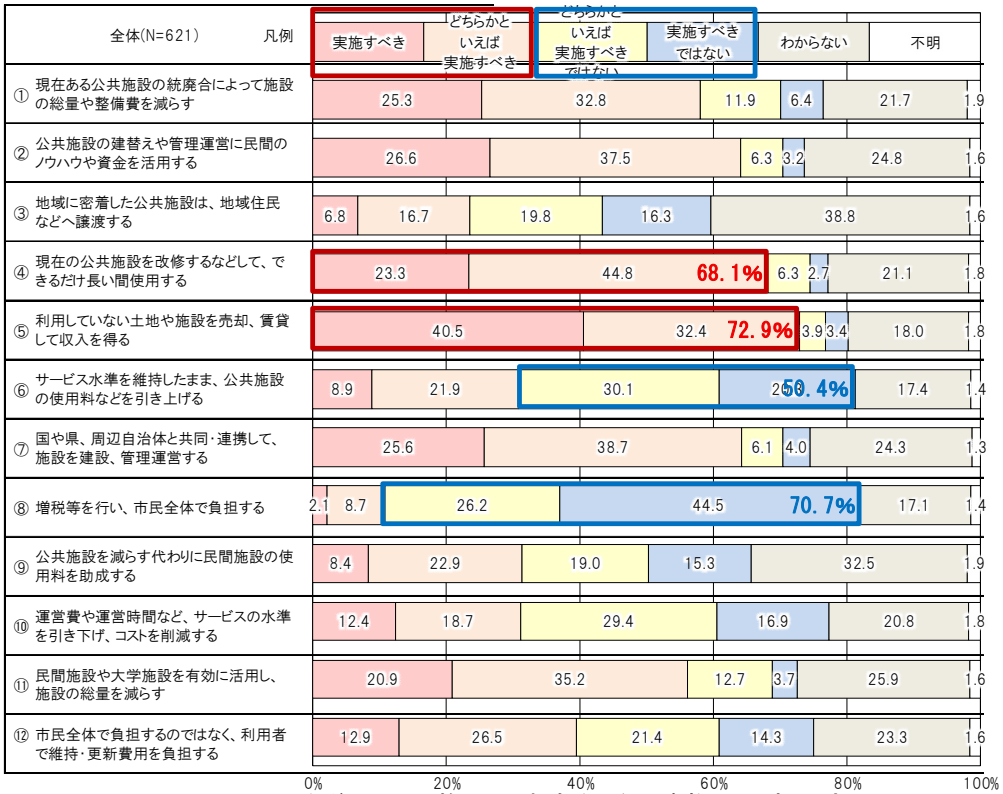


▲春日市の公共施設の現状や課題についての関心

※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

⑬今後の公共施設（建物施設）のあり方

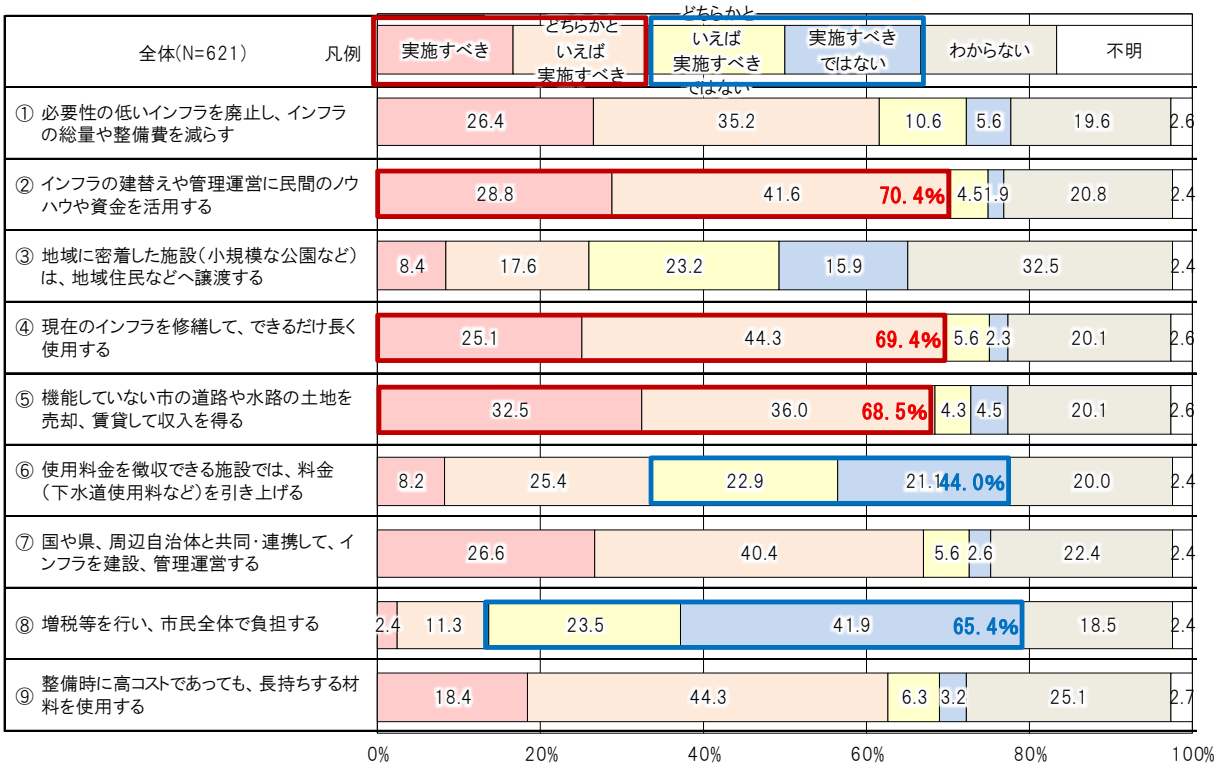
今後の公共施設（建物施設）のあり方について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」と積極的な意見が多いものとして、「利用していない土地や施設を売却、賃貸して収入を得る」、「現在の公共施設を改修するなどして、できるだけ長い間使用する」が挙げられています。一方で、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」と消極的な意見が多いものとして、「増税等を行い、市民全体で負担する」、「サービス水準を維持したまま、公共施設の使用料などを引き上げる」が挙げられています。



▲今後の公共施設（庁舎などの建物）のあり方

⑭今後の公共施設（道路、橋梁などのインフラ施設）のあり方

今後の公共施設（インフラ施設）のあり方について、「実施すべき」「どちらかといえば実施すべき」と積極的な意見が多いものとして、「インフラの建替えや管理運営に民間のノウハウや資金を活用する」、「現在のインフラを修繕して、できるだけ長く使用する」、「機能していない市の道路や水路の土地を売却、賃貸して収入を得る」が挙げられています。一方で、「どちらかといえば実施すべきではない」「実施すべきではない」と消極的な意見が多いものとして、「増税等を行い、市民全体で負担する」、「使用料金を徴収できる施設では、料金（下水道使用料など）を引き上げる」が挙げられています。

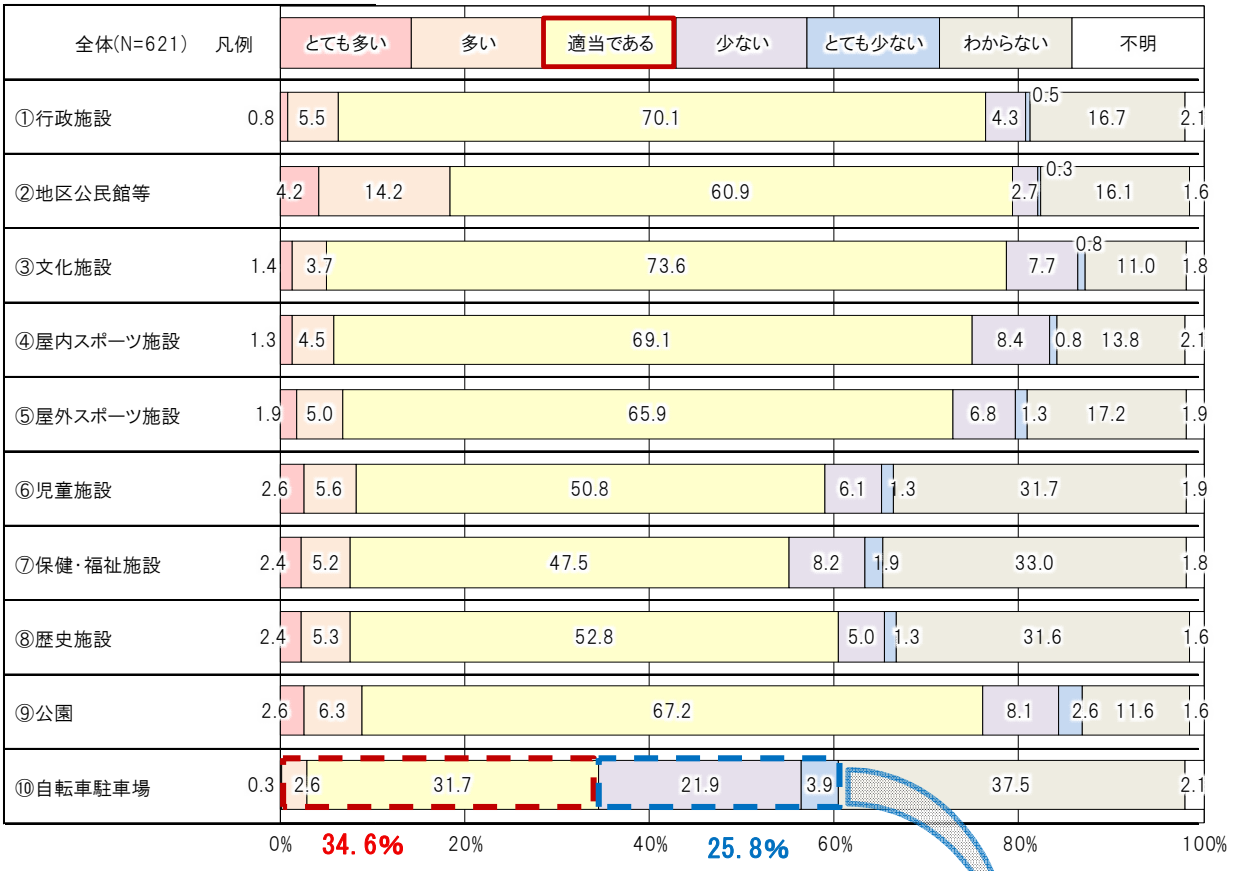


▲今後の公共施設（道路、橋梁などのインフラ施設）のあり方

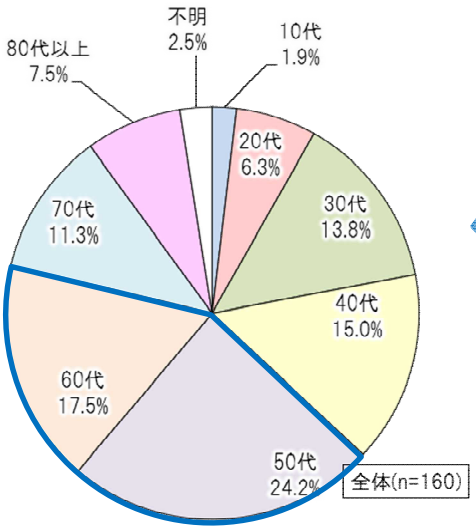
⑮公共施設の数についての考え

全施設において、公共施設の数は「適当である」が、「わからない」を除く、全ての回答で上回っています。

しかし、自転車駐車場については、「とても多い」「多い」「適当である」の回答が約3割(34.6%)に対して、「少ない」「とても少ない」の回答が約3割(25.8%)を占めています。また、「少ない」「とても少ない」と回答した方の年代別では、50代が最も多く、次いで60代の方となっています。



▲公共施設の数についての考え

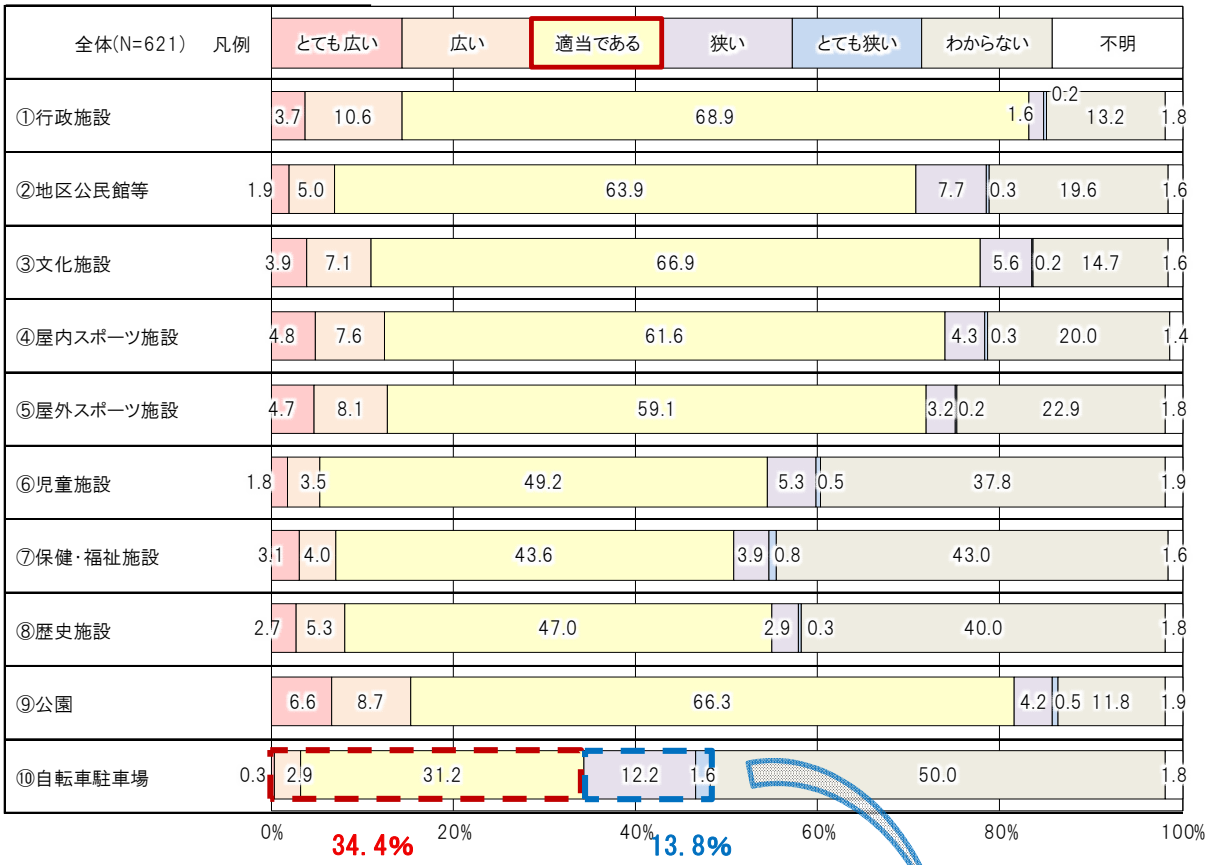


▲自転車駐車場－「少ない」「とても少ない」と回答した方の割合【年代別】

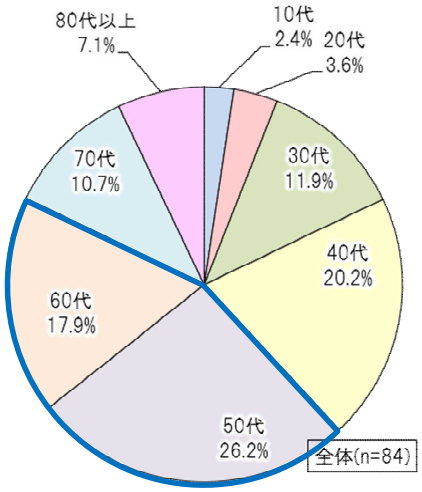
⑯公共施設のスペース（広さ・空間）についての考え

全施設において、公共施設のスペースは「適当である」が、「わからない」を除く、全ての回答で上回っています。

しかし、自転車駐車場について、「とても広い」「広い」「適当である」の回答が約3割(34.4%)に対して、「狭い」「とても狭い」の回答が約1割(13.8%)を占めています。また、「狭い」「とても狭い」と回答した方の年代別では、50代が最も多く、次いで40代の方となっています。



▲公共施設のスペース（広さ・空間）についての考え

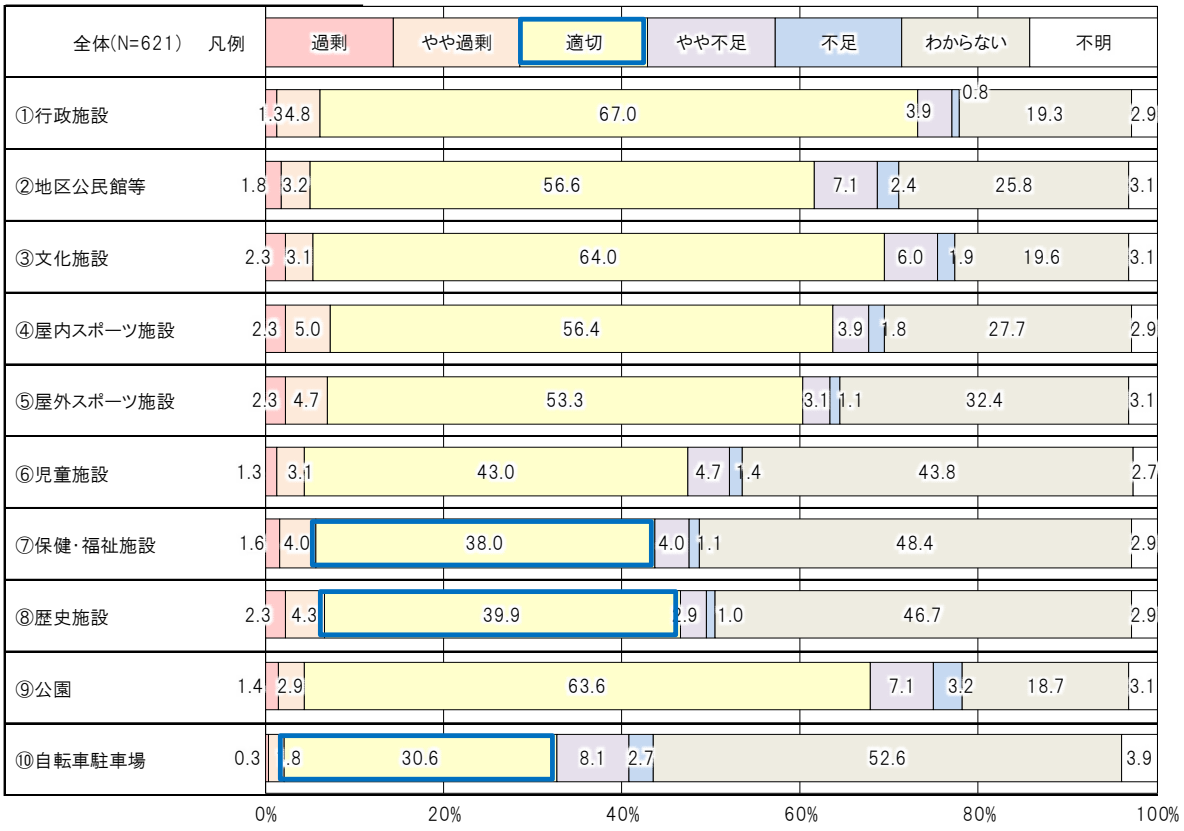


▲自転車駐車場－「狭い」「とても狭い」と回答した方の割合【年代別】

⑰公共施設のハード面（建物本体や設備など）の使い勝手や安全性についての考え

公共施設のハード面に対する使い勝手や安全性については、多くの施設で「適切」とする回答が最も多くなっています。

「適切」の割合は行政施設（67.0%）、文化施設（64.0%）、公園（63.6%）で高くなっているのに対し、自転車駐車場（30.6%）、保健・福祉施設（38.0%）及び歴史施設（39.9%）では比較的低くなっています。

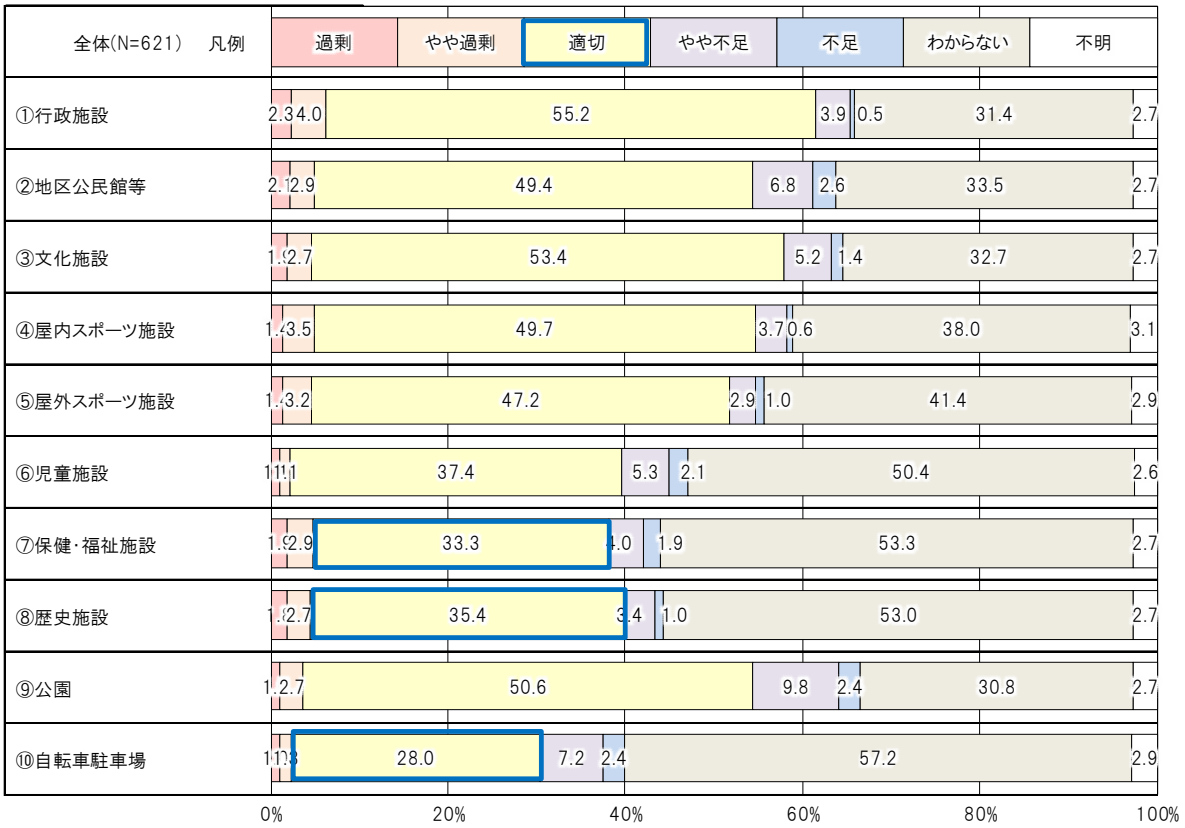


▲公共施設のハード面に対する使い勝手や安全性についての考え

⑱公共施設のハード面（建物本体や設備など）のメンテナンスや修繕についての考え

公共施設のハード面に対するメンテナンスや修繕についても、使い勝手や安全性と同様の傾向が見られます。

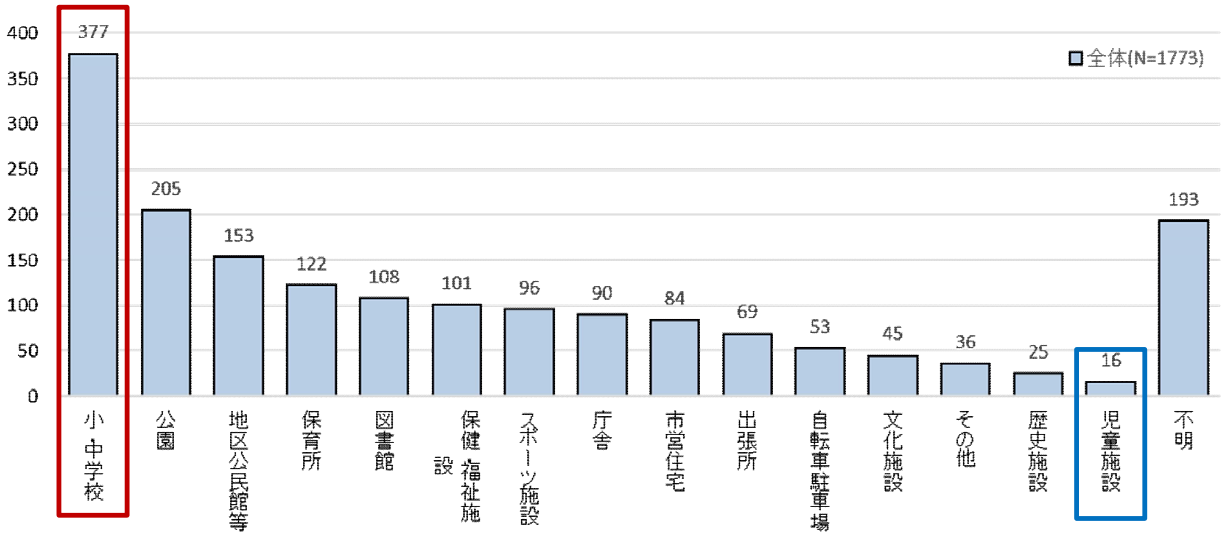
「適切」の割合は文化施設（53.4%）、行政施設（55.2%）、公園（50.6%）で高くなっているのに対し、自転車駐車場（28.0%）、保健・福祉施設（33.3%）及び歴史施設（35.4%）では比較的低くなっています。



▲公共施設のハード面に対するメンテナンスや修繕についての考え

⑲優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設

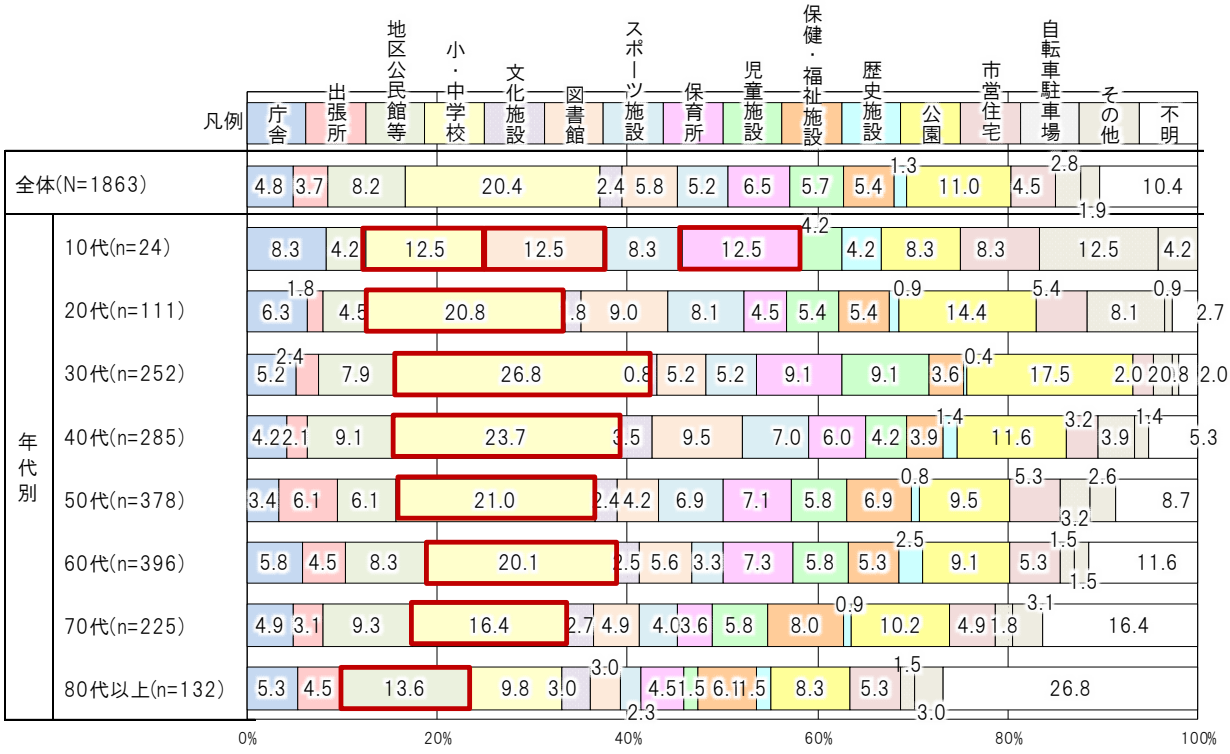
優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設については、「小・中学校」が最も高く、「児童施設」が最も低い回答となっています。



▲優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設

※複数回答を含む
（3 つ/人回答）

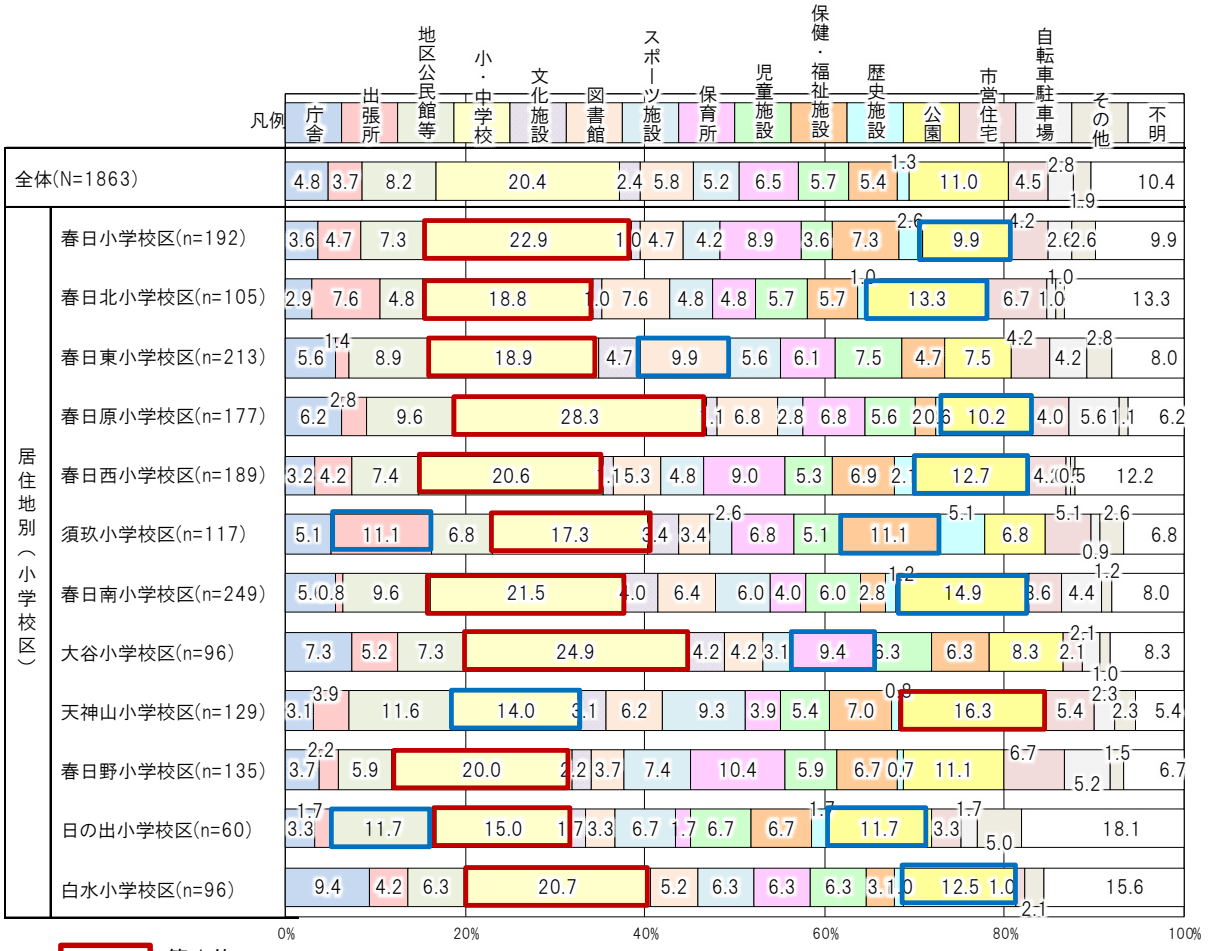
年代別では、多くの年代で「小・中学校」の割合が最も高くなっており、10 代では「図書館」と「保育所」が同率で最も高くなっています。また、80 代以上では「地区公民館等」の割合が最も高くなっており、年代によって優先的にメンテナンスや修繕を求める施設に違いが見られます。※10 代は 18～19 歳のみの回答であるため、参考値としてご覧ください。



第 1 位 ▲優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設【年代別】

※複数回答を含む（3 つ/人回答）
※全体の母数・割合は、年代不明票分を含む

12 小学校区のうち 11 地区で「小・中学校」が第 1 位となっており、優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設として特に重視されています。また、第 2 位は「公園」が多くの地区で占めている一方、春日東小学校区では「図書館」、須玖小学校区では「出張所」及び「保健・福祉施設」、大谷小学校区では「保育所」が第 2 位となりました。一方、天神山小学校区では「小・中学校」を「公園」が上回り、日の出小学校区では「公園」と並んで「地区公民館等」が第 2 位となるなど、地域によって特徴も見られました。

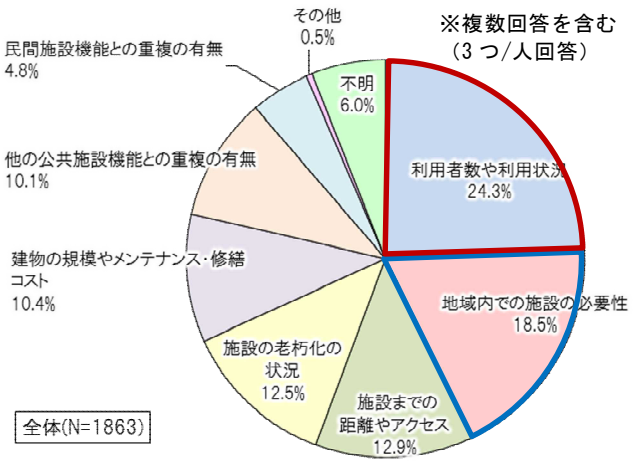


▲優先的にメンテナンスや修繕を図るべき施設
【居住地別】

※複数回答を含む（3 つ/人回答）
※全体の母数・割合は、小学校区不明票分を含む

⑳現在の公共施設を再配置する場合、重視すべき点

公共施設を再配置する場合に重視すべき点としては、「利用者数や利用状況」が 24.3%と最も多く、次いで「地域内での施設の必要性」が 18.5%となっています。また、「施設までの距離やアクセス」（12.9%）や「施設の老朽化の状況」（12.5%）も比較的多く、施設の利用実態や地域における必要性を中心としつつ、利便性や施設の状態なども重視されていることがうかがえます。



▲現在の公共施設を再配置する場合、重視すべき点

第１位　第２位

㉑自由回答（主な意見を抜粋）

1）“公共施設の利用状況や施設状況”に関する意見		
子供達が元気に（公園で）遊んでいるのを見ると元気が出ます。図書館で本を読んで知恵を蓄えるのが好きです。ただの感想で申し訳ないのですが公共施設のサービス維持に取り組んでいただき誠にありがとうございます。	女性	20代
80歳を過ぎています。時々大池公園のウォーキングする位です。美術館には好きな展示があった時には行きます。（九州博物館、県立美術館、市立美術館、久留米の石橋文化センター　等）	女性	80代以上
小さい公園が多い	男性	50代
特に市役所の利用者の人数に対しての建物の広さと職員の人数のバランスを考えると、まあまあバランスが取れていて良いと感じます。しかし春日ふれあい文化センターの建物・部屋数は広すぎ、多すぎのように感じます。どの施設でも共に、利用者の量を考えた数量・規模・職員数。将来の改修費を考えて施設の設置（現状数維持かマイナス等）を希望します。	男性	50代
2）“今後の公共施設のあり方”に関する意見		
人口減少に伴って施設の統廃合を行う際、アクセスの善し悪しなど、すべての年代の方が利用しやすいように、環境整備も整えていただきたい。	女性	50代
公共施設・設備は採算性だけで判断すると、民間では対応しにくい地域や不採算なサービスが失われるおそれがあります。そのため、利益だけでなく公共性を重視し、全年齢が利用できる施設・設備を優先して整備維持することが重要だと考えます。また、緊急時災害時においては断層からも近い立地であることも踏まえ、避難所としての役割も担うため、冷暖房や衛生設備などの防災機能は採算性よりも優先して整備・維持すべきだと考えます。	女性	40代
春日市だけで廃止は難しいと思うため、広域市町村圏と役割分担をして共同利用する方針のもと、重複施設の廃止をするなど段階的な取組も必要と考える。	男性	50代
施設の利用者やコストを比較しムダなものはどんどん無くしてほしい。市民全員がなるべく納得のいく税金の使い方をしてほしい。老朽化＝メンテナンスではなく、本当に必要なものか、これからの時代の流れに合わせて検討して頂きたい。雨の時でも遊べる施設など（夏は熱中症の恐れがあり、外で遊べないなど）、有料でもあるといいのではないか。	女性	30代
インフラにあまりにも高額な材料を使用せず、最低限でも丈夫で長持ちできるものを選んでほしいです。	女性	60代
・本当に必要な施設なのかどうかを、再点検すべき。 ・民間で代替可能なものは民間に任せる。 ・公共という名の下にいろんな施設が多すぎるような気がする。たとえ、公共性が高くとも費用対効果が適切でない施設は遠慮なく処分すべき。	男性	70代
3）“既存施設の適切な維持・管理”に関する意見		
市民図書館の改修予定がありますが、従来の図書館の雰囲気やデザインで設備を新しくしただけでは全く意味がありません。 毎日でも通いたくなる施設を作ってほしいと思います。	女性	40代
児童センターのトイレが古い！せめて便座は温かいものにしてあげてほしい。	女性	30代
今ある施設は、塗装などの外壁と屋根の補修をして内装だけ改装すれば、警固断層地震のリスクを考える必要はあるが、取り壊さなくても長く使えるはず。逆に昭和レトロ的な内容は永続的に残して歴史的価値を高める必要もあると思う。	男性	60代
公共施設は住民の生活・福祉・生きがい対策等のため大切な施設です。住民ニーズに応じた既存の施設を安全に維持管理することもとても大切です。事故が起こる前の対策が必要です。特に道路・上下水道の生活基盤の計画的更新を進めて下さい。	男性	80代以上
4）“既存施設の機能強化（ハード面・ソフト面）”に関する意見		
遊具改修の時期は、夏休み期間を除外する方が利用者に配慮している計画と思う	男性	50代
子ども達がボール遊びなど自由にできる広場のある公園、施設が増えるといいですね。木陰が少なくなっているような気がします。30年ほど前の白水公園は桜のトンネルがとてもきれいでした。若木に植え替え、再びあの景色が見たいです。	女性	70代
・児童センターが春日市は遊具が少ない場所やおもちゃが少ないと思います。 ・学校についてですが、体育館にもエアコンをつけてほしい。年々、夏の暑さが厳しくなり、保健室に連れて行かれる子が増えているとの事で心配です。公共施設も大切ですが、子ども達の学校生活の方が時間も長く、急な対応も出来ないと思うので検討をお願いします。	女性	30代
早朝から夜遅くまでの利用が可能な学生に特化した自習室、自習場所が欲しい	男性	10代
5）“施設・土地の有効活用”に関する意見		
人口減少や厳しい財政状況が続く中、今ある施設をどう有効活用するかが重要だと思います。施設の長寿命化や複合化、空きスペースの有効活用を進めることで、維持管理費を削減し、住民サービスの維持も両立してほしいです。また、整備や再編にあたっては、利用者や地域住民の意見を反映し、地域のニーズや実情に合った施設づくりを進めていただきたいです。	女性	40代
利用者が少ない施設に関しては、解体し民間に土地貸しをすればよいと思います。	男性	50代
小学校のプールは市のプールを使ったら良いと思う。	女性	50代
6）“費用負担”に関する意見		
白水大池公園の駐車場 最初の1時間は無料にする。（公園を1周するには30分くらいかかる為）	男性	80代以上
使用者が少し負担が多くなったとしても、仕方ないと思う。市外の人と市内の人で利用料金を変えてもいいと思う。	女性	40代
新しい建物、広い空間は非常に気持ちのいい物ですが、今後人口減を見据え過剰な設備は控え、健全な資金繰りをお願いいたします。	男性	50代
白水大池公園の駐車場有料化はやめていただきたいです。	女性	20代
7）“周知・ＰＲ”に関する意見		
災害時の公共施設の活用指針を市民にも周知してほしい。教育に関する施設のクオリティを下げないようにしてほしい。隣接する自治体との協力もあってよいのでは。	女性	60代
今回のアンケートで改めて様々な施設があることを知りました。施設の営業時間や利用料金など、もっと知ってもらえるよう宣伝もあっていいと思います。	男性	50代
アンケートの結果を市報等で公開した上で、今後公共施設の補修や新設の計画・予算について知りたい。	男性	60代

市民アンケート分析結果まとめ

市民アンケートで得られた公共施設に関するご意見やご要望については、その内容を整理し、本計画における公共施設マネジメントの方向性や具体的な取組の検討に反映してまいります。

【春日市を取り巻く現状についての認知状況】

- 前回調査では、50 代以上では「知っている」が上回る一方、40 代以下では「知らない」が上回る傾向にあり、市の現状に対する認知は世代間で差が見られました。

  一方、今回調査では、老朽化対策や財政状況に関する設問で 10 代のみ「知らない」が上回ったものの、それ以外の年代ではおおむね「知っている」が上回る結果となっており、市の現状認識が広い世代に浸透していることがうかがえます。

【公共施設の民間施設への代替可能性】

- 現在利用している公共施設については、「民間施設へ代替ができる」と回答した方が約 1 割に対して、「代替できない」「代替できるが公共施設で行いたい」と回答する方が約 5 割を占めており、前回調査と同様に、“公共施設”としての施設形態の必要性が高い状況です。

【公共施設の利用状況】

- 利用施設の傾向は前回・今回とも大きく変わらず、「公園」「図書館」「庁舎」「地区公民館等」の利用が多くなっています。また、80 代では地区公民館等の利用が最も多くなるなど、年代や地域によって利用施設の特徴が見られます。
- さらに、施設利用者のうち「月 2～3 回以上」利用する人の割合は、前回の 38.8%から今回の 44.2%へ増加しており、公共施設がより日常的に利用される傾向が強まっています。

  →利用施設の種類は大きく変化していないものの、利用頻度は増加しており、公共施設が市民生活により身近な存在となっていることがうかがえます。

【公共施設の現状や課題についての関心】

- 春日市の公共施設の現状や課題については、市民の約 7 割が関心を持っており、前回調査の約 6 割から高まっています。

【今後の公共施設のあり方】

- 公共建築物のあり方

  実施すべき項目として、「未利用施設を売却・賃貸する」「施設をできるだけ長い間使用する」などの回答意見が多く、効率的な施設管理や、施設の長寿命化を望む声が多い状況です。反対に、「増税等による費用負担」「使用料などの引き上げ」は実施すべきではないとの回答意見が多く、前回調査と同様に、費用負担の増加を望まない声が多い状況です。

- インフラ資産のあり方

  公共建築物と同様に、長寿命化を望む声が多く、費用負担の増加を望まない声が多い状況です。今回調査では、実施すべき項目として**「民間のノウハウや資金を活用する」**が最も多い回答となっています。